

西 学校だより

令和7年5月28日(水)
6月号
羽村市立羽村西小学校
TEL 554-2034
校長 刀襦 俊明

新しい学習スタイル 自由進度学習 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」 の一体的な充実の実現を目指して～

校長 刀襦 俊明

昨年度から、羽村市教育研究指定校として校内研究に取り組んでいます。校内研修部を中心に先生たちが主体的に文部科学省の答申や書籍や先進校の実践などを参考にし、西小の子供たちに合うようにトライ＆エラーしながら研究を進めています。今年3月の東京都教育施策大綱にも「これまでの学びのあり方を東京から改革し、社会の変化に柔軟に対応できる「新たな教育のスタイル」により、自分らしく成長できる自由で多様な学び」として重要性が記載されています。これについて概略を保護者・地域の皆様にご紹介いたします。

研究主任 瀬川 正晴

本校は羽村市教育研究指定校として2年目を迎えました。研究主題・副主題は「自らの学びを調整し、主体的に学習に取り組む児童の育成～自由進度学習の実践を通して～」です。この研究主題・副主題のもと、西小の子供たちは、一斉授業と自由進度学習の2つの学習スタイルで学んでいます。

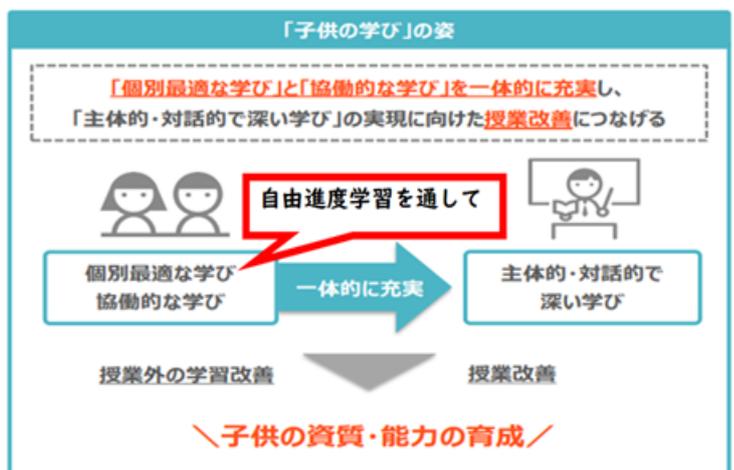
一斉授業は、これまで子供たちが慣れ親しんできた学習スタイルのことです。教師が授業をリードしていくイメージです。それに対して自由進度学習は、子供たち一人一人が自分にとって興味・関心のある課題を決め、計画を立て、自分に合った方法で学ぶ新しい学習スタイルのことです。学習の過程では、友達との交流やグループ活動などしながら学びを深めます。子供たち自身が授業をリードしていくイメージです。この自由進度学習は、国や都が推進している新しい学習方法で、全国的に注目されています。西小では、授業全

体の2割を目標に取り組んでいます。

子供が自分のペースで学習を進めるため、教師の役割も変わります。マラソンに例えるなら、ゴールに向かって走っている子供に寄り添う伴走者の役割です。子供のペースを見ながら、その子に合った支援を行い、ゴールまで走り切れるように促します。教師にとっては新しい授業の進め方のため試行錯誤の連続ですが、校内研修部を中心に全教職員で研究を進めています。西小の子供たちに合った学習スタイルを模索し、日々の授業づくりに生かしています。

このように自由進度学習の実践を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現を目指し、子供の自己調整力や主体的に学習に取り組む態度の育成を図ります。

また、6月には国語、理科で自由進度学習の研究授業を予定しています。国語は6年生で「帰り道」、理科は4年生で「電流のはたらき」です。子供の主体性が見られる授業になることを期待しています。さらに1月30日(金)には、市内全校の全教員に向けての研究発表会があり、2年間の取組の成果を報告します。保護者の皆様には、学校公開や保護者会などでご紹介させていただきます。



引用 令和3年3月30日

中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)」【総論解説】